

精神科リエゾンチーム  
の紹介

### contents

- ・血液内科の紹介
- ・地域連携研修会の報告

# 山梨県立中央病院 医療連携 だより

NEW

## Liaison psychiatry

# 精神科リエゾンチームの 活動を開始しました

### ごあいさつ

連携医療機関の皆様、いつも大変お世話になっております。  
精神科では2016年4月より常勤医師を1名増員し、地域連携  
センターに精神保健福祉士を1名配備致しました。同年7月よ  
り精神科リエゾンチームを結成し、回診をすることによって入  
院患者のコンサルテーション業務を「より細かく、より丁寧に」  
対応できる体制を整えました。



CP岸野 Ns長沼 PSW佐々木 Dr渡辺 Dr長谷部  
CP:臨床心理士、PSW:精神保健福祉士

### 精神科リエゾン コンサルテーション とは…

#### Psychiatric liaison consultation

「リエゾン」とはフランス語で「連携」や「連絡」を意味します

「精神科リエゾン」は、身体疾患に伴うさまざまな心理的問題や精神症状を  
身体科の医療スタッフと精神科医が共同して治療や診断にあたるシステム  
のことです。主に身体科の担当スタッフから寄せられる、患者さんの心理的  
問題に関する相談（コンサルテーション）に対応しています。

### チームの 取り組み

- 入院中に発生した不眠・せん妄などの精神症状が速やかに改善するよう対応さ  
せていただいています。
- 精神疾患を合併している患者さんが、より安全に身体疾患の治療を受けられる  
ようにサポートさせていただいております。  
※当院では閉鎖環境の治療施設が存在しないため、激しい精神症状がある方はお受  
けできないことがあります。ご了承ください。
- 精神疾患を合併している患者さんの転院などの連携がスムーズに行えるよう  
対応させていただいています。



地方独立行政法人山梨県立病院機構

山梨県立中央病院

YAMANASHI PREFECTURAL CENTRAL HOSPITAL

地域連携センター

〒400-8506 山梨県甲府市富士見1-1-1  
TEL.055-253-7111/FAX. (直通) 055-253-2903

# 骨髄バンク・臍帯血バンクネットワーク認定施設として あらゆる方法の移植が可能に



血液内科 部長

飯野 昌樹

白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫などのいわゆる「血液がん」は、比較的まれな疾患ですが、県内の罹患患者数は肝臓がんに次いで多く、近年、高齢化とともに増加しています。

当院は県内トップの症例数を診療し、緊急入院や造血幹細胞移植など血液がんに対するほとんどすべての治療が行えるような体制を取っています。

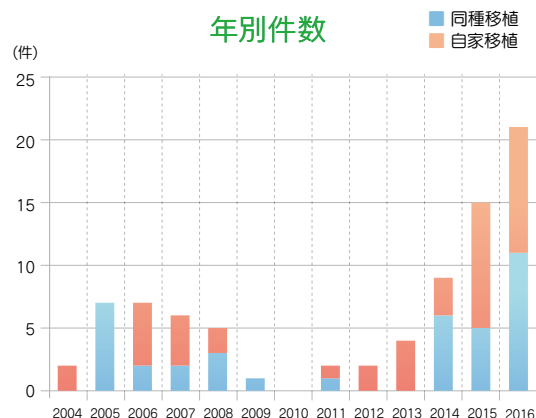
白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫などの血液がんの治療では、新薬の登場が目覚ましく、早期に適切な治療を行うことで治癒が見込めるようになってきています。当院では、そういった新薬を県内でいち早く取り入れ、最適な症例に使用することで治療効果を高めるよう努力しています。

## CHECK 1

## 造血幹細胞移植

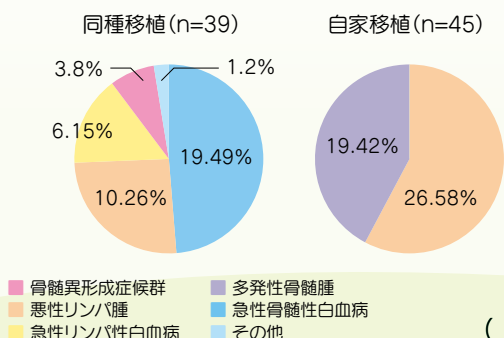
### Hematopoietic stem cell transplantation

造血幹細胞移植は、白血病、悪性リンパ腫などの血液がんで再発・難治例が主な対象となります。当院では、骨髄バンク採取・移植認定施設、臍帯血バンクネットワーク認定施設として、あらゆる方法の移植が可能になっています。造血幹細胞移植はこれまで県内ではほとんど行われてきませんでしたが、当院では積極的に取り組み昨年までに80例以上の移植を行ってきました（図1）。骨髄提供ドナーを必要とする同種移植は急性骨髄性白血病を中心に、また患者自身の造血幹細胞を用いる自家移植は悪性リンパ腫の再発例や60代までの多発性骨髄腫患者の初期治療として行っています（図2）。従来は40代までが移植可能な年齢でしたが、近年、ミニ移植等高齢者でも移植可能な方法が開発され、当院でも60代までの患者に対し移植治療を行っています（図3）。



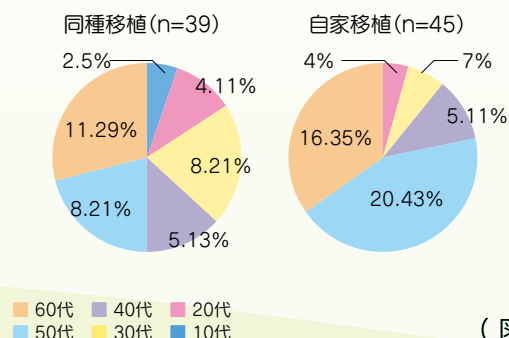
(図1)

### 疾患別移植件数



(図2)

### 移植年齢



(図3)

# Topics 血液内科 の紹介



末梢血幹細胞採取



骨髄採取

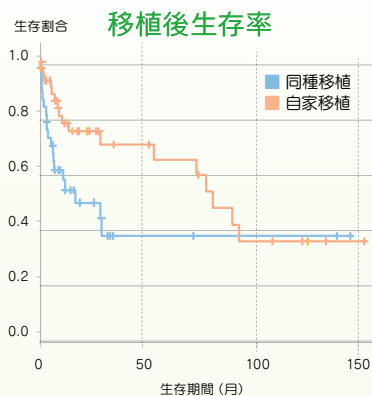
## CHECK 2

## ドナー探しは容易な時代に

### Searching donors is easy

同種移植では、従来幹細胞提供者のHLA（白血球の血液型）を患者HLAと一致させる必要があり、血縁の方で一致しない場合は骨髄バンクに登録し幹細胞提供者を探す必要がありました。骨髄バンクでの移植では、現在でもドナーが見つかり移植に至るまでに平均4か月程度かかっていますが、近年は、臍帯血移植、ハプロ移植という新しい移植方法が開発され、臍帯血を臍帯血バンクから取り寄せたり、あるいは血縁の方が協力していただければHLAが一致していなくても従来とほとんど同じ成功率で移植が行えるようになっていきます。これらの移植方法を選択することで患者にとって最適なタイミングで移植を行うことが可能になっています。

### 臍帯血移植の流れ



これまで東京など他県に行かないと受けられなかった造血幹細胞移植ですが、地元で行うことにより、病気の発症から移植までスムーズに治療が進み、移植後の頻回の外来通院や発熱、下痢など体調不良等の緊急時もすべての情報が揃っている当院を安心して受診することができ、患者・家族にとってのメリットは大きいと考えています。



2016  
地域連携  
研修会  
H28年度

10.21 FRI

「膠原病に伴うPAHの早期診断と治療  
～膠原病に伴う肺高血圧症を考える～」

平成28年10月21日開催。東京女子医科大学  
病院膠原病リウマチ内科臨床教授「川口鎮司先  
生」をお迎えして開催しました。

「膠原病に関してあまり経験がないので参考  
になった」また「症例を多く経験されている先  
生なので、最新の治療・データなど勉強になっ  
た」というご意見をいただきました。



地域連携研修会が  
開催されました

次回研修会

日時：H29年 3月23日(木)／19:15～20:30

場所：山梨県立中央病院 2F 多目的ホール  
甲府市富士見1-1-1 055-253-7111

題名：『山梨県における  
地域連携と医療の充実』

講師：山梨県立中央病院 院長 寺本 勝寛 医師

11.8 TUE

「治る心房細動の見分け方  
～アピキサバンの左心耳血栓に対する効果～」

平成28年11月8日、当院多目的ホールにて、  
地域連携研修会を開催しました。

国保直営総合病院君津中央病院循環器科医  
長の濱義之先生にお越しいただき、心房細動の  
診断と治療、全身麻酔による心房細動アブレ  
ーション、治る心房細動の見分け方、アピキサバ  
ンの左心耳血栓に対する効果についてご講演い  
たしました。

院外より医師16名ご出席いただき、活発な意  
見交換が行われました。アンケートでは「臨床に  
役立つ内容だった」等の感想が多く聞かれ、有  
意義な研修会となりました。



当地域連携センターでは院内・院外に向けた連携  
のための研修会を今後も定期的に開催させていた  
だきたいと考えております。その都度ご案内させてい  
たしますので、ぜひご参加ください。

研修会の情報はホームページでもご案内しています。併せてご覧下さい。  
<http://www.ych.pref.yamanashi.jp/>

紹介状のある初診患者さんは、患者さんご自身による電話予約や、  
かかりつけ医によるFAX予約ができます。

当院では、日頃よりかかりつけ医を持っていただくことをお勧めしています。

体調に変化があったときはかかりつけ医に相談の上、紹介状(診療情報提供書)を持って受診してください。

紹介状のある初診患者さんは、初診の予約ができます。予約をすることで初診はさらにスムーズになります。

電話予約の流れ

1

かかりつけの  
医院を受診  
紹介状をもらって  
ください

2

専用ダイヤルにお電話  
以下にお電話ください  
☎055-253-7900  
9:00～17:00 月～金(祝祭日除く)  
①紹介状 ②電話診療予約申込書  
③当院の診察券(お持ちの方は)

3

受診当日  
ご予約30分前に総合案内にお越しください  
お持ちいただく物  
①紹介状 ②電話診療予約申込書  
③保険証 ④当院の診察券  
⑤受給者証(老人医療、公費等該当する方)